

## 挑む!

マウンテンランニングの先駆者

飯田 祐次郎さん(31)

## 坂道も営業も 走り続ける

時に高低差1500m、約10kmの山道を1時間で駆け上がる。起伏のある山岳地を走るマウンテンランニングの国内の先駆者だ。身長163cm、体重48kgと小柄だが、年に4〜5回は国際大会に出て、強者と表彰台を競う。

時に高低差1500m、約10kmの山道を1時間で駆け上がる。起伏のある山岳地を走るマウンテンランニングの国内の先駆者だ。身長163cm、体重48kgと小柄だが、年に4〜5回は国際大会に出て、強者と表彰台を競う。

学後、半年で陸上部をやめた。走ることとはあきらめきれず、個人で練習し、地域の陸上の大会に出場を続けた。大学2年、短期留学した英国で出会ったのがマウンテンランニングだった。試しに出た大会で上位に。上り坂に強く、忍耐力がある自分には向いていると直感した。「この競技なら、世界で戦える」。大学院で再び英国に留学し、本場の指導を受けた。

和歌山市の三菱電機の冷熱システム製作所に勤める。業務用空調の海外営業を担当し、隔月で海外出張を続けている。毎朝5時半に起きて15km走る日課は出張先でも欠かさない。

9月にブルガリアであった世界選手権は75位と不本意な結果に。「状況を言い訳にしたくない」。その目はすでに来年の大会を向いている。

文・写真 新田哲史



神奈川県出身。エディンバラ大学大学院修士課程を修了し、三菱電機入社。海外営業課に所属し、マウンテンランニングの世界選手権に7年連続出場中。

記者から

マウンテンランニングと会社員の二足のわらじに驚いた。日本でも競技を普及させて欲しい。